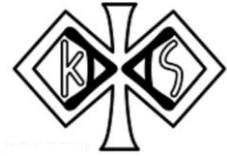


加 佐

始業式・入学式号
令和8年4月7日
舞鶴市立加佐中学校



<https://kasa-maizuru.edumap.jp/>

複数の教員で学級を支える

令和8年度は14名の新入生を迎え、全校生徒50名でスタートです。春の陽気に元気をもらって、生徒・教職員・保護者・地域の皆様とワンチーム！で教育推進に努めます。ご理解とご協力をお願いします。

早速ですが、4月から「チーム担任制」を取り入れます。

子どもたちの変化をより確実に捉え、負担の偏りなく、学校全体で見守る体制をつくるための方法です。『なぜ、チーム担任制なのか』

中学校は元々、教科担任制により複数の教員が子どもたちと関わります。思春期の子どもたちにとって「いろいろな大人が関わること」が、安心にも成長にもつながります。

一方で「経験年数の差」「指導方針の見立ての偏り」「ひとりの教員では気づきにくい変化を見逃す」といった課題が従来の「担任制」にはあり得ました。

そこで「複数の視点で生徒を見守る」という考え方を、学級経営にも広げることにします。

チーム担任制の運営方法（概要）

3つの学級（3学年）を6人の教員で担当します。1週間ごとに担任を交代し、それぞれの学級（3学年）を全員が見守る方式です。「そんなにクルクル交代して大丈夫？」という声があるかもしれません。けれど、この“交代する”ことに大きなメリットがあります。

「それぞれの教員の持ち味を、すべての学級で活かせる」「子どもを多面的に把握できる」

「若い教員や、転勤異動してきた教員が早期に生徒を理解し、地域の特色を知ることができる」

「学級経営を分担することで、指導計画が進めやすくなる」

当初は戸惑いもあるかと思いますが、複数で担うからこそ、多様で安定した学級運営を目指します。

【想定されるご質問と運用の方針】

Q. 「相談したいとき、誰に電話したらいいの？」

A. 基本は“その週の担任”ですが、どの教員でも対応できるよう、情報を共有します。

Q. 「三年生の進路相談は？」

A. 指導の連続性が大切なので、一学期中に担当を固定します。

Q. 「家庭訪問はどうなりますか？」

A. 4月の家庭訪問は、校区をエリア別に分担して、伺った内容を教職員全員で共有します。

その後の家庭訪問や電話連絡は、“その週の担任”が行います。

学級運営の細かい部分は、職員室でシミュレーションをして準備していますが、実際に始めてみると、若干の不具合が起こることも想定しています。

生徒や保護者の皆さんの意見を聞きながら、より良い形へ改善していきます。どうぞご理解とご協力をお願いします。

急速な社会の変化に「学校のしくみ」が追いついていないことを実感しています。だからといって、切迫感に追われたアイデアでは「伸び伸びとした子どもの育成」にならないか。とも思います。未来社会がどんな景色か？想像しながら「柔軟でしなやかな若者を育てる学校経営」は我々の探究テーマです。

舞鶴市立加佐中学校 校長 阪口靖敬 教職員一同

